

STAND BY YOU

その想いを、ともに描く。

コロナ禍のこころのケア 学生相談室のいま

2022年度 学年暦

3月28日(月)	ガイダンス(オンライン)(全学部2～4年生)
3月29日(火)～4月6日(水)	履修登録期間(全学部4年)
3月30日(水)～4月6日(水)	履修登録期間(全学部3年)
3月31日(木)～4月6日(水)	履修登録期間(全学部2年)
4月4日(月)～4月6日(水)	履修登録期間(商学部1年)
4月5日(火)～4月6日(水)	履修登録期間(法1年・現代1年)
4月4日(月)	入学式(商学部)、新入生プライムセミナー(商学部)
4月5日(火)	入学式(法学部・現代教養学部)、 新入生プライムセミナー(法学部・現代教養学部)
4月7日(木)	春セメスター(前期)授業開始
4月12日(火)～4月14日(木)	定期健康診断
5月2日(月)	創立記念日振替休業日[授業なし]
5月5日(木)	創立記念日(祝日:こどもの日)[授業なし]
5月16日(月)～5月20日(金)	履修取消期間
5月26日(木)	体育祭[授業なし]
7月18日(月) 海の日	※祝日等の授業実施日①
7月28日(木)	春セメスター(前期)授業終了
7月29日(金)～8月4日(木)	春セメスター(前期)定期試験
8月5日(金)～8月8日(月)	春セメスター(前期)集中授業
8月9日(火)～9月22日(木)	夏季休業
8月31日(水)～9月5日(月)	春セメスター(前期)追・再試験
9月16日(金)～9月22日(木)	秋セメスター(後期)履修登録(商・現代)
9月23日(金) 秋分の日	秋セメスター(後期)授業開始※祝日等の授業実施日②
9月30日(金)	春セメスター 卒業式
10月1日(土)	学校法人中央学院「学校起源地」
10月10日(月) スポーツの日	※祝日等の授業実施日③
10月17日(月)～10月20日(木)	履修取消期間(商・現代)
10月28日(金)	大学祭(あびこ祭)準備日[授業なし]
10月29日(土)～10月30日(日)	大学祭(あびこ祭)[授業なし]
12月23日(金)	年内授業終了
12月26日(月)～1月9日(月)	冬季休業
1月10日(火)	秋セメスター(後期)補講日
1月11日(水)	秋セメスター(後期)授業再開
1月13日(金)	休講(大学入学共通テスト前日／準備)
1月27日(金)	秋セメスター(後期)授業終了
1月28日(土)～1月31日(火)	秋セメスター(後期)集中授業
2月1日(水)～2月7日(火)	秋セメスター(後期)定期試験
2月21日(火)～2月28日(火)	秋セメスター(後期)追・再試験
3月1日(水)～3月31日(金)	春季休業
3月20日(月)	学位記授与式(卒業式)

※2022年2月28日現在
※7/18(月)、9/23(金)、10/10(月)は祝日ですが、授業を実施します。
※大学院の学年暦はホームページをご覧ください。
※学年暦は新型コロナウイルス感染症の今後の状況によって変更になる場合があります。
※最新の情報はCGUポータルや大学ホームページで確認してください。

information



「第98回箱根駅伝」結果報告

2022年1月2日・3日に行われた「第98回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)」において、本学駅伝部は出場21チーム中16位(11時間7分33秒)となり、惜しくも上位10位までに与えられる次回大会のシード権獲得とはなりませんでした。また来年の箱根駅伝にむけて精進いたします。引き続き、応援よろしくをお願いいたします。

個人成績

区間(距離)	氏名	学年	区間順位	区間タイム
1区(21.3km)	栗原 啓吾	4年	20位	1時間 4分 47秒
2区(23.1km)	吉田 礼志	1年	18位	1時間10分13秒
3区(21.4km)	武川 流以名	3年	10位	1時間 3分10秒
4区(20.9km)	伊藤 秀虎	2年	19位	1時間 4分37秒
5区(20.8km)	吉本 光希	3年	10位	1時間13分17秒
6区(20.8km)	工藤 巧夢	1年	4位	58分47秒
7区(21.3km)	松井 尚希	4年	14位	1時間 5分15秒
8区(21.4km)	馬場 竜之介	4年	12位	1時間 6分 8秒
9区(23.1km)	吉田 光汰	4年	17位	1時間10分53秒
10区(23.0km)	中島 稔貴	3年	8位	1時間10分26秒



©月刊陸上競技

「2021年度特待生表彰式」報告

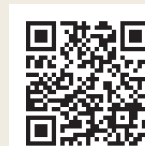
12月10日(金)、令和3年度特待生(学業成績優秀者)の表彰式が行われ、商学部3名、法学部3名、現代教養学部3名が表彰されました。特待生は、前年度の学業成績が平均点90点以上の者で、かつ、標準単位数以上を修得した者の中から選考を行い、教授会で意見を聴いて学長が決定するものです。選ばれた学生には、授業料年額相当額が支給されます。

商学部	法学部	現代教養学部
4年 寺門 史帆里さん (商学総合コース) 茨城県立水戸第二高校出身	4年 片柳 仁心さん (司法コース) 北海道留萌高校出身	4年 佐藤 香織さん 茨城県立日立第二高校出身
3年 平田 有輝さん (情報コース) 東京都立墨田川高校出身	3年 新井 翔天さん (司法コース) 東京都立江戸川高校出身	3年 今泉 真夕さん 私立中央学院高校出身
2年 戸田 昂佑さん (商学総合コース) 私立霞ヶ浦高校出身	2年 吉岡 幸太郎さん (フィールドスタディーズコース) 柏市立柏高校出身	2年 作佐部 翔英さん 東京都立豊島高校出身

教務課からのお知らせ

新年度(2022年度)については、原則「対面授業」を実施するという方針のもと準備を進めていますが、状況によっては対面授業をオンライン授業に切り替える可能性もあります。(オンライン授業は引き続きMicrosoft Teamsを主要ツールとして使用します。)オンライン授業に十分に対応するため、手元にパソコンを持っていない方は、新年度授業開始までに購入して準備することを推奨します。推奨パソコンについては、大学ホームページをご確認ください。
その他、新年度についての連絡事項は随時学生用ポータルサイト「CGUポータル」にてお知らせします。

推奨パソコンの
ご案内はこちら





この大学の「一員である」ことや、「ここにいていいんだ」という気持ちを持ちづらいうです。そこで相談室では少しでも横のつながりを作り、大学になじんでもらいたいとの思いから、様々なイベントを企画しました。例えば、大学を知ってもらうクイズ大会やチーム対抗のゲーム大会、また、女子学生同士の交流を深めるためのおしゃべり会を実施しました。今後もうこうした取り組みを積極的に続けていこうと思っています。

オンライン授業期間に 痛感した自己管理の必要性

学長 家で生活が長くなると、どうしても生活のリズムが崩れがちです。極端な場合、昼夜逆転での生活になることもあるようです。また、特に1・2年生には、課題をためこんでしまったという話も聞きました。

片山 対面授業であれば出席すればその場で授業は完結しますが、オンデマンドの授業の場合、自分の好きなタイミングで受講できるため、レポート課題が後回しになってしまい、気がついたらくさんのレ



対談 市川 仁 学長

学生相談室
片山 綾乃 カウンセラー

Special feature 1

コロナ禍の こころのケア 学生相談室のいま

コロナ禍前とは大きく変わった
日常が、2年以上続いています。
社会全体が初めての経験で混乱するなか、
大学生はどんな不安や悩みを
抱えているのでしょうか。

ポート課題を抱えて締め切りに間に合わないという相談も受けます。また、1年生は一つ一つのレポートを、定期テストと同じくらい重要視しているようです。精度を上げようとするあまりまとまらないとか、「授業で学んだことをまとめればいいんだ」とアドバイスしたりします。

学長 大学の勉強に真剣に取り組もうという気持ちの表れでもあるのでしょうか、常に100%では息切れしかねません。教員からも、そうしたメッセージを出さないといけませんね。

片山 普段から気にかけてくれる教員の存在は学生たちも大きな支えになります。学習面の学びに留まらず、困ったときは頼ったり気軽に相談できる関係構築ができていれば、学生も保護者の方にも安心して学生生活を過ごせると思います。



描いていたような学生生活が
送れずストレスを
感じている学生たち

学長 コロナ禍での学生生活も2年を過ぎました。大学側としては、学生・教職員の安心・安全を守ることを最優先にしながら、できる限り対面授業を実施するという方針で取り組んできましたが、学生相談室にはさまざまな悩みを抱えた学生が来るのでしょうか。

片山 以前から学生相談室を利用してくれる学生に加え、ここ2年は新入生への対応に力を入れています。不安や悩みにできるだけ早く対応できるよう、入学時に新入生アンケートを送って気になる学生にはこちらからチャットやメールでアプローチしています。相談できる窓口があること、何でも相談していいんだということ、何ぞ知ってもらい、安心して学生生活を送って欲しいとの思いからです。

学長 1・2年生は学生生活の入口からコロナの影響を受けました。オンライン授業の期間が長かったため、対人関係を構築できるのが大学に通えるようになってから、というのはかなりのハンディだったのではないかと思います。

片山 そうですね。ですが、1・2年生だけでなく、3・4年生からも相談を受けます。以前の相談内容は友人関係や将来のことが多かったのですが、キャンパスに通えないブランクがあったことで、「また前のように友人と関係を築けるのだろうか」「学生生活に始めるだろうか」という不安が多かったですね。また、人間関係では

心身共に健康で過ごせる ようなサポートを



学長 コロナ禍はまだ続きます。学生の皆さんにとっては厳しい状況下での学生生活ですが、今後必要なのは、いわゆるDX(デジタルトランスフォーメーション)の基盤となっている発想の転換です。先ほど片山先生からも相談の予約や連絡の際にチャットを使っているという話がありましたが、大学としても工夫を重ね、学生の皆さんが学生生活を楽しめるような方法を考え、努力していきます。また、本学にはいろいろな相談窓口がありますから、困ったときは一人で抱え込まず、こうした窓口をぜひ利用してもらいたいですね。

片山 困ったときに相談するということは、必要なスキルだと思います。誰もが多少少ななれ悩みや不安を抱えています。学生の皆さんには、この大変な2年間を乗り切った自分に自信を持って歩んでいってほしいです。どんな相談でもかまいませんから気軽にご連絡ください。一緒に考えましょう。

気軽に相談してみませんか？

学生の皆さんや保護者の方が相談できるよう学内にはさまざまな相談窓口があります。何か悩みがあるとき、困っているとき、ささいなことでも構いません。気軽に相談してください。



● 学生相談室
(カウンセリング) 自分のことや学生生活、将来のこと、孤独感などカウンセラーに幅広く相談できます。相談は無料です。電話・メールで予約を受け付けています。
(こころのドクター相談) 月1回精神科医が来校し、相談に応じます。
TEL: 04-7183-6535 E-mail: soudan@cc.cgu.ac.jp

● 保健センター
病気やケガなど健康に関すること、身体のこと
気になることがあれば健康相談や医療機関の案内も行っています。
TEL: 04-7183-6515

● 教務課
遠隔授業、履修手続きや試験・成績・単位に関すること
TEL: 04-7183-6514

● 学生課
学費の納入や奨学金、課外活動や各種届出など学生生活全般に関すること
TEL: 04-7183-6518

● 学生サポートセンター
学生生活のサポート、各種相談、障害学生支援に関すること
TEL: 04-7183-6508

学生同士よりも保護者との関係に関する相談が増えました。同じ家の中で長時間顔を合わせていると、お互い気になる点がいろいろ見えてきて衝突が起きやすくなります。生活の中でさまざまな我慢をせざるをえないこともストレスになっています。

学長 オンラインで授業は進められますが、キャンパスでの学生生活では人と接することやさまざまな活動を通して体験することからこそ得られるものがたくさんあります。私もオンデマンドで授業をしましたが、授業後に学生と話す機会が減り、何か物足りない感覚がありました。ですから、対面授業が可能になり、学生同士が仲良くやっている姿を見ると安心しましたね。イベントなどにも参加を呼びかけていますが、積極的に学生生活を楽しんで欲しいです。

片山 コロナ禍に入学してきた学生の話を聞いていて思うのは、大学への帰属意識を持ちにくくなっているということです。どこの大学にも共通して言えることですが、キャンパスに通えないことで「自分が



Interview



商学部
スポーツ
キャリアコース
2年
瀧澤 心さん
私立淑徳高校出身



バレーボール部女子
増山 光洋 監督
(現代教養学部准教授)

ここ2年間は対外的な練習がほぼ実施できず、自チームのみで強化に励みました。コロナ禍以前は強化部として常に勝利を求めてきましたが、大会中止を余儀なくされる中、私自身も大学スポーツに携わる目的を見失いかけました。今後は強化を継続することはもちろんですが、公式大会で成果を発揮するだけではなく、選手も指導者も自己追求、自己実現の意識を高めていければと思っています。

学生Interview 頑張るCGU生



商学部
情報コース
3年
高橋 龍平さん
千葉県立佐倉南高校出身

ただ、コロナ禍の影響で新入部員の勧誘が思うようにできておらず、部員数がかなり少ない状態なので、まずは新入生をたくさん勧誘したいです。吹奏楽団はアットホームな雰囲気があると同時に、全員がもっとうまくなろうと真摯に練習に取り組んでいます。興味を持たれた方、ぜひ吹奏楽団へ！

吹奏楽団は、「心のこもった演奏」をモットーに、初心者から経験者まで楽しく演奏しています。

コロナ禍以前と変わったのは土曜日の活動時間です。以前は昼食持参でしたが、飛沫感染を考慮して部室での食事が禁止となり、午後からの活動となりました。それ以外にもマスクを着用するため会話によるコミュニケーションがとりづらくなった、オンライン授業下では家で授業を受けてから大学に集まるので不便など、さまざまな課題があります。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、課外活動も一時中断されてしまった中央学院大学。コロナ禍でさまざまな制限がかかってしまっても前向きに活動していたバレーボール部女子と吹奏楽団にお話を伺いました。

心のこもった演奏を
より多くの人に届けられる
ような企画を考えています



吹奏楽団
嶋田 慎 先生

練習では、コンクールやコンサートの本番日を一番大切に考えました。不測の事態に陥っても本番の演奏への影響ができるだけ少なくなるよう、外部からの依頼によるイベントでの演奏など、コロナ禍でできなかったこともたくさんあります。指導者の嶋田先生と相談して、今後はSNSへの演奏動画の投稿や月に一度の学内外でのミニコンサートを企画中です。幼稚園や高齢者施設など学外に出向いて演奏したり、夏のコンクールA部門へのチャレンジも視野に入れています。

また、制約はありますが、部員たちは以前と同じように練習に取り組んでいます。

12月の定期演奏会では、1年間の集大成としてさまざまなジャンルの音楽に挑戦して多くの皆さんに演奏を届けたいと考えています。一方で野球や箱根駅伝での応援、外部からの依頼によるイベントでの演奏など、コロナ禍でできなかったこともたくさんあります。指導者の嶋田先生と相談して、今後はSNSへの演奏動画の投稿や月に一度の学内外でのミニコンサートを企画中です。幼稚園や高齢者施設など学外に出向いて演奏したり、夏のコンクールA部門へのチャレンジも視野に入れています。



チーム内で切磋琢磨しながらレベルアップに取り組んでいます

バレーボール部女子は現在関東大学リーグ3部で活動。大学トップリーグにあたる1部リーグへの昇格と、東日本および全日本大学選手権における上位進出を目指して活動しています。

コロナ禍により約1年間、学内で部員全員での練習ができず、外部の施設で限られた時間しか練習を行うことができませんでした。また実力を試せる練習試合や、上位リーグ昇格のための試合が次々に中止となり、「何を目的に取り組めばいいの

か」「何をモチベーションにすればいいのか」不透明な現状にとっても悩まされました。今は学内で練習ができるようになりましたが、感染対策のためのマスクの着用や、ハイタッチなどの接触、声を出す行為を最小限にするなど、慣れないことが多く思い通りとはいきません。

そうした困難な状況乗り越えられたのは、チームメイトの存在があるからです。「対外試合のできない今こそ、自分たちの強化したい部分を集中的に練習できる」と頭を切り替えました。どんな練習にすればいいのかなどコミュニケーションを多くとるようにし、人任せではなく一人一人が責任をもって練習に取り組む、切磋琢磨することで、ここまでモチベーションを維持することができました。そして短時間でも部員の間など一緒にバレーボールができることや、会ってコミュニケーションが取れることの大切さを改めて実感することができました。

分散しての練習や多くはできない外での活動、対外試合など、コロナ禍での制約はまだありますが、できる範囲で一生懸命練習に取り組む、次の試合に向けてチーム強化を図っていきたいと思っています。

保護者向けお悩み相談
Q&A
学生相談室ではお子様に関する保護者の方からの相談も受け付けています。

学生相談室 片山 綾乃 カウンセラー

ANSWER
3 QUESTION
大学で友達ができる
いないようです。

コロナ禍で対面授業の機会が減っていることから友達ができにくい人が例年より多くなっています。大学の友達がいないくても、高校までの友達とつながっていて本人が満たされている場合もあります。反対に家を出て一人暮らしをしているのに友達ができず孤立感を抱えているようなケースは特に心配です。相談室では友達作りのお手伝いとして、おしゃべり会やクイズ大会、物作りワークショップもやっており、ホームページで告知しています。よろしければ始めてみてください。

ANSWER
2 QUESTION
高校生のころは早寝早起きでしたが、大学生になってから不規則な生活を送っています。また、ときどき授業に出席していないようです。

大学では時間割によって午後からの授業であったり、オンライン授業はギリギリに起きても間に合ったりすることもあります。もし朝早い時間の特定の授業だけ欠席が続いているような場合は、「朝、起こそうか？」と尋ねてみたり、来年度の時間割を組む際に一緒に時間割を考えてみるのもひとつの方法です。不規則な生活で単位をたくさん落としてしまった場合は危険信号なので学生相談室に相談してください。

コロナ禍における本学の学生生活支援

食料支援実施

12月23日(水)、本学のコロナ禍における学生の生活支援プロジェクトとして「食料支援」を実施し、事前申込みをした学生に対してお米やカップ麺などを配布しました。

今回の食料支援は、新型コロナウイルス感染症の影響で生活に困っている学生に、食料品や日用品等を支援し、少しでも明るい気持ちで新年を迎えてもらいたいという思いから始めました。

実施にあたっては、あびこ農産物直売所「あびこん」を運営する株式会社あびこ様より我孫子産コシヒカリ300キロをご提供いただき、同日、学長室にて受贈式が行われました。

後援会より在学生へQUOカードを寄贈

中央学院大学後援会(保護者会)より、在学生全員に5,000円分の「QUOカードPay」をメールにて配付しました。「QUOカードPay」はスマートフォンで持ち歩くカードです。提携企業が多く、書店やコンビニ、雑貨や文具、スポーツ用品、飲食店等の様々な店舗で利用ができます。有効期限は発行から3年間です。

対象者	3月1日時点で在学している学部生・大学院生(正規生)
利用方法	大学メールアドレスに届いたURLにアクセスするか、アプリをダウンロードしてバーコード又はQRコードをスマートフォンに表示してご利用ください。
注意	大学メールアドレスへのアクセスは在学中しかできませんので、必ず自分の携帯等のアドレスに転送しておくか、バーコード画面をブックマーク又はアプリで取得しておくようにしてください。

詳細は、CGUポータルをご参照ください。

就職活動報告

商学部
会計コース
4年



鈴木 稚菜さん
千葉県立柏の葉高校出身

◎就職活動を始めたきっかけ、スケジュール
2年から「キャリアデザイン」の授業内で自己分析や企業分析等を行っており、3年の秋頃にインターンシップに初めて参加、12月から会社説明会を受け始めました。3月頃に内定が決まっている人が多くいたことから就職活動に本腰を入れるようになり、6月に説明会、その後2カ月間で3回の面接を受け、内定をいただきました。

◎就職課の利用について
就職課でいくつか企業を紹介してもらいました。また、あまり大学に行く機会がなかったのでできなかったのですが、面接の練習をしたかったです。きっと貴重なアドバイスが受けられたのだと思います。

◎コロナ禍での就職活動
インターンシップも会社説明会も現地で行う企業がとても少なかったです。その分活動費用の負担は少なかったですが、実際に会社に行くと社員の方々と接することができなかったため、会社の雰囲気をつかむのが難しかったです。また、面接もほぼオンラインだったため、PCの画面ではなくカメラを見て話す癖ができました。

◎保護者からのサポート
人事を担当したことがある父から参考になる意見を聞けました。「面接の際、面接官はどういうところを見ているのか」「採用したいと思う人はどういう人か」など、具体的なアドバイスをもらえたので良かったです。

〈内定先〉 株式会社アルファウェーブ
〈内定した時期〉 8月
〈志望業界〉 IT業界
〈インターンシップ参加企業数〉 4社
〈説明会参加企業数〉 25社
〈エントリーシート提出数〉 15社
〈面接数〉 13社
〈内定数〉 1社
〈活動費用〉 約5千円

◎就職活動を始めたきっかけ、スケジュール
3年の秋に公務員試験対策講座が始まったことをきっかけに、本格的に試験勉強を始めました。冬頃から試験勉強と並行して民間企業の説明会や面接も数社参加。最初の公務員試験受験が4年の4月、最後の受験先の試験が終わったのが8月下旬でした。

◎就職課の利用について
受験先が複数あったため、4月下旬から8月下旬にかけて長期間、書類添削・面接練習でお世話になりました。特に1次試験(筆記)に合格してから2次試験(面接)までの期間は、毎日のように面接練習をしていただきました。先輩方の過去の面接内容などを参考にしながら、それぞれの受験先に合わせた対策に取り組みました。

◎コロナ禍での就職活動
会社説明会や公務員試験対策講座がオンラインになりました。特に講座がオンデマンド授業になったため集中できなかったり、勉強の進度が周りと比べてどうなのか不安になったりなど、個人的にはマイナスに感じる面が多かったです。一方で、苦手なところやわからないところの授業を何度も見返せたのはプラスでした。

◎保護者からのサポート
論作文試験対策として、論作文の添削をしてもらいました。先輩警察官から「親に添削してもらいながら論作文対策をしていた」という話を聞いたので、それを参考にしました。精神面でも、家族の応援の力を実感しました。



橋本 紗希さん
山形県立鶴岡中央高校出身

法学部
行政コース
4年

〈内定先〉 千葉県警察本部
〈内定した時期〉 夏
〈志望業界〉 公務員
〈インターンシップ参加企業数〉 5社
〈説明会参加企業数〉 15社
〈エントリーシート提出数〉 12社
〈面接数〉 10社
〈内定数〉 2社
〈活動費用〉 約10万円

◎就職活動を始めたきっかけ、スケジュール
もともと公務員志望でした。3年夏ごろに民間企業2社のインターンシップに参加したものの、自己PRやガクチカ(学生時代に力を入れたこと)の作成などを行っておらず、年明けに危機感を抱いて本格的な就職活動を始めました。3月に1社、4年の4月～6月に4社(民間)内定後、8月に宇都宮市役所より内定をいただきました。

◎就職活動で役立ったグッズ・アイテム
書籍では『史上最強の内定獲得術』『公務員試験の勉強法が面白いほどわかる本』を活用しました。また大学の就職ガイダンス・セミナーのほか、就活ナビサイト開催のWebセミナーに積極的に参加。自己PRやガクチカの完成度を高めたり、面接対策やES対策に役立ちました。

◎保護者からのサポート
興味のあるセミナーや説明会には積極的に参加するというスタイルで就職活動を行っていたため、遠方でのセミナー等に参加することもありましたが、わざわざ仕事の休みを取って現地まで送迎してくれました。また就職活動中に何度も悩み、心が折れそうになったときには、家族が心の支えでした。

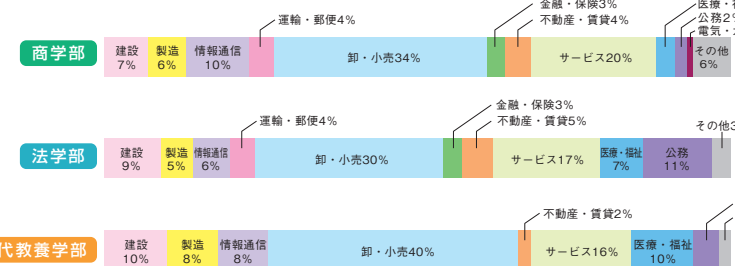
◎就職課の利用について
3年の1月下旬、初めて就職課を訪れ、キャリアカウンセラーと面談。それから進路相談、面接練習など就職活動を終了する8月下旬まで、合計20回ほどお世話になりました。また、宇都宮市役所から内定をいただいた後、進路決定のサポートでもよいアドバイスをもらいました。

現代教養学部
4年



平山 和也さん
茨城県立境高校出身

〈内定先〉 宇都宮市役所
〈内定した時期〉 8月下旬
〈志望業界〉 地方公務員、医療業界、飲食業界、小売業界
〈インターンシップ参加企業数〉 5社
〈説明会参加企業数〉 26社
〈エントリーシート提出数〉 24社
〈面接数〉 13社
〈内定数〉 8社
〈活動費用〉 約15万円



公務
財務省
台東区役所
柏市役所
宇都宮市役所
八潮市役所
警視庁
千葉県警察本部
茨城県警察本部
柏市消防局
防衛省 陸上自衛隊

卸・小売
IDOM
コジマ
サンックス
サンドラッグ
システナ
生活協同組合コープみらい
ゼンショーホールディングス
トヨタモビリティ東京
日本マクドナルド
ネクステージ

サービス
アウトソーシング
市川市農業協同組合(JAいちかわ)
エスクリ
エンジャパン
共同エンジニアリング
公益社団法人日本プロゴルフ協会
西尾レントオール
日総工産
日本アイ・ビー・エムデジタルサービス
UTグループ

建設
アーネストワン
シノケングループ
住友林業
大東建託

製造
キヤノン
SUBARU
日本新薬
日本製紙

情報通信
アルファ・ウェーブ
グロップ
セラク
ソフトウエア情報開発
ディップ
DTS
日本企画
日本テレメッセージ
ヤマトシステム開発
USEN-NEXT HOLDINGS

運輸・郵便
サカイ引越センター
日本通運
日本郵便
東日本旅客鉄道(JR東日本)

金融・保険
JPアセット証券
第一生命保険
東京ペイ信用金庫
東北銀行

不動産・賃貸
ケイアイスター不動産
晃南土地
新昭和グループ
東京建物

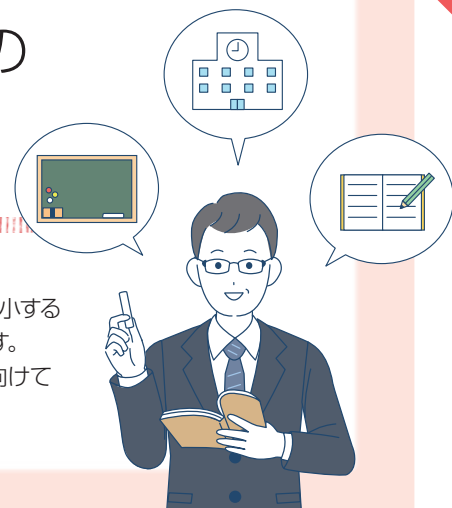
医療・福祉
医療法人社団桜水会
学校法人埼玉医科大学 埼玉医科大学病院
社会福祉法人草加福祉会
独立行政法人国立病院機構

2022年3月卒業予定者 主な就職先一覧

就職課から見たコロナ禍での就職活動



コロナ禍2年目、就職率の急激な落ち込みはないものの、大手企業含め一部業種では人員整理や、採用計画を数年間中止・縮小する傾向も見られ、まだまだ油断できないというのが正直な見解です。コロナ禍で就職活動も変化する中、今年度の傾向や今後の活動に向けて押さえておきたいポイントについて紹介します。



01 コロナ禍における就職活動の傾向と変化

オンライン就活の普及により、交通費を削減できることで説明会への参加者が増加し、企業研究の幅が広がりました。オンライン就活はコロナ後も継続が見込まれていますが、テレワークを併用・継続する企業や専門職採用を導入する企業もあり、職業選択も変化していくと考えられます。一方、採用担当者の学生を評価する目は厳しくなっています。企業の特徴をしっかりと理解・把握し、自分がどのような業務に携わりたいかを明確にするとともに、オンライン面接のポイントでもある「話し方」・「顔の映し方」等、「自分を魅せる力」を養うことが重要です。

03 就職課で受けられるサポート

就職課ではキャリアカウンセラーを2名常置。就職全般の相談をはじめ、履歴書の添削、面接の練習などを行っています。面接練習では公務員、民間企業とも過去の面接内容集をもとに実践形式で行います。筆記試験対策としては、学年別にSPI講座、公務員試験対策講座等を多数開講しています。また、個人の要望に合わせた企業の紹介や企業研究・筆記試験対策の書籍(就職課貸出)にも対応しています。ぜひご利用ください。

02 就職活動は早い時期から? 成功する学生の共通点

就職活動の準備に「早すぎる」ということはありません。インターンシップで1・2年生を受け入れる企業も多数ありますし、全学年、年1回受検するGPS-Academic(自己分析テスト)をもとに自己分析を進めるのも就活の準備です。スケジュール的には《2年生夏休み～3年生進級前まで》に大まかな指針、目標を立てること。志望する企業ではどのようなスキル《知識・資格》が必要で、どのような人物を求めているかを把握し、足りないものがあればそれを補填する努力を反復継続する。これが順調に就職活動を進め、成功に近づいている人の共通点です。

04 保護者の方へのお願い

お子様の考えを尊重し、社会人の先輩として温かく見守っていただくことがお子様の自己成長につながります。就職を取り巻く環境は日々変化し、大卒生に対し採用側が求める要件は「思考力」と「自発性」がベース。保護者から一方的に、否定的な意見を言われると活動自体をやめてしまう傾向もあるため、お子様自身が将来を見据えたうえで準備できるように促していただくと良いでしょう。